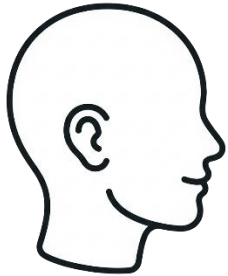


2024 年度修了生  
がん薬物療法専門医療人養成コース

匿名さん



本講義では、がん治療は臓器の枠を超えて進化し、特に原発不明がんでは分子病態に基づく治療選択が主流であると症例検討を通じて学びました。自身の大学院の研究ではゲノム解析を用いた希少リンパ腫の予後予測指標の開発プロセスに触れましたが、その手法が固形腫瘍にも応用可能であることを実感できたのは大きな収穫です。免疫チェックポイント阻害薬の普及に伴い課題となる免疫関連有害事象に対し、血液内科で培った免疫毒性管理の専門性を固形腫瘍へ展開できるよう、ゲノム医療の知識を今後も深めてまいります。患者さんに寄り添う臨床腫瘍医として心理支援にも力を注ぎ、固形がんと血液腫瘍を橋渡しする新規治療開発に貢献できるよう、研鑽を重ねてまいりたいと存じます。末筆ながら、本コースの指導教官の皆様に心より感謝申し上げます。